

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 2月24日		～ 2026/3/6
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026/2/24		～ 2026/3/6
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026/2/24		～ 2026/3/6
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/6		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員が専門職で組まれていることにより、より専門性の高い視点でのアセスメントおよび支援介入に取り組めること。	PEOモデルを用いて、人・環境・作業の相互関係を評価し、作業活動(幼稚園、小学校などでの活動)をよりその子らしい参加を目指した介入方法の検討を実施している。	さらに多角的な視点からのアセスメントおよび、介入方法を学び訪問実施に反映させていきます。 ・定期職員会議にて、業務内容の擦り合わせ、ケース検討の実施 ・その他研修・学会への参加を通じた研鑽
2	“かかりつけ療法士”として、お子さんの困り感に対してタイムリーに介入できる。保護者様も同様に、いつでも相談できる存在・場所として機能していること。	公式LINEや、訪問時の報告書を通して、適宜双方の疑問事項や、対応策等の意見交換を実施している。	改善点にも記載があるように、保護者と直接交流する機会が少なくなっているのが現状です。モニタリング等の事務的作業以外で、今後の保護者様や、お子様のご所属先との連携を持てる機会を意図的に設けていけるよう努めてまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援開始前後の打ち合わせ、役割分担の確認場面が不足していること	直行・直帰で支援先に出向くスケジュールを組んでいるため、スタッフ間で話す機会が減ってしまうため	職員間の連携会議を定期開催とし、より質の高い訪問支援の実施を目指していきます。
2	保護者会等を開催する等の、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援や、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供の実施に至っていないこと	開所して間もないこともあり、スケジュールを組めていなかった	かかりつけ療法士として、保護者様がいつでも気軽に相談いただける場面作りまたは、保護者同士の横のつながりを持てる機会作りを検討していきます。 現段階では、「ここんカフェ(保護者座談会)」の開催を検討中です。
3			